

# 広報ひこね

2002  
4/1



矢倉川右岸堤防の桜並木（鳥居本町）



桜の美しさを語る岩崎さん

表紙では、「住みたい 住み続けたいまち」彦根の表情を写真で紹介しています。写真をお持ちでない場合は、**☎**情報政策課広報係で撮影します。**☎**22-1411（内線431）へ気軽に連絡してください。

## 表紙のことば

岩崎ナツエさん（鳥居本町）

矢倉川沿いに桜の木が植えられたのは、高根団地が造成され、堤防が整備されたときです。それからかれこれ25年、大きく成長した桜がみことな花をつけます。ここ数年は特に美しく、満開が近づくと近くの老人会や家族連れなど、たくさんの方が花見に訪れるようになりました。

私は地区公民館の俳句会に入っています。毎年、花が咲くころになると、みんなで堤防に出かけて俳句を詠むのが恒例になりました。思い思いに散策し、地区公民館に戻った後で、感じたままを俳句にまとめます。春の息吹をいっぱいを感じる、気持ちのよいひとときです。

花堤三五五とにぎわえる  
昨年詠んだ拙作を披露させていただきました。